宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

1.発生動向

上段は発生患者数、下段は定点当たり

	<u> </u>					判断基準(定点当たり)		
· 疾 病		2 週 3 週 4 週 5 週						/こ ノ/ 注意報レベル
	נאר אלי	1月8日 ~ 1月14日	1月15日 ~ 1月21日	1月22日 ~ 1月28日	1月29日 ~ 2月4日		収束基準値	基準値
新型コロナ	インフルエンザ [#]	9	15	15	13	30	10	10
	「フフルエン・ソ	3.00	5.00	5.00	4.33		10	10
	新型コロナウイルス感染症 [#]	9. 67	³² 10.67	21.33	2 8.33	-	-	-
	RSウイルス感染症	0	0	0	0	-	-	_
		2	0	<u> </u>	1			
	咽頭結膜熱	1.00	-	2.00	0.50	3	1	-
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	⁶ 3.00	17 8.50	¹⁰ 5.00	5.50	8	4	-
小児科定点	感染性胃腸炎	7	15	12	17	0.0	10	
		3.50	7.50	6.00	8.50	20	12	-
	水痘	3 1.50	0.50	3 1.50	0.50	2	1	1
	400	0	0	0	0	_	2	
	手足口病		-	-		5	2	-
	伝染性紅斑	0	0	0	0	2	1	-
	 突発性発しん	0	0	0	1	_	_	_
	ラベブロロエブロ のイク	0	0	0	0.50			
	ヘルパンギーナ	_	-	_	_	6	2	-
	流行性耳下腺炎	0	0	0	0.50	6	2	3
眼科	急性出血性結膜炎	定点設定なし				1	0.1	-
眼科定点	流行性角結膜炎	定点設定なし				8	4	_
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	定点設定なし				-	-	-
 #	無菌性髄膜炎	定点設定なし				-	-	-
基幹定点	マイコプラズマ肺炎	定点設定なし				-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	定点設定なし				-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	定点設定なし				-	-	_
拡張疾患	マイコプラズマ肺炎(小児科)	0	0	0	0	-	_	_
	川崎病	0	0	0	0	-	-	-
	4 - 12 41 -2	0	0	0	0			
	不明発疹症	-	-	-	-	-	-	-

栗原支所管内定点数:#は3施設。それ以外は2施設

2. 施設対応状況 (過去2週間における支所対応状況) ◎:複数対応中、○:対応施設あり、一:対応無し

施設区分	保育所	高齢者·障害者入所施設	医療機関
対応状況	0	0	_
備考	新型コロナウイルス感染症 溶連菌	新型コロナウイルス感染症	

*「1.発生動向」の解釈について

- ・上段は**圏域全体で**一週間に診断した患者数 ・下段は**一つの定点(医療機関)**において一週
- ト段は**一つの定点(医療機関)**において 間に診断した患者数
- ・下段の定点当たりの数値を表右側の判断基準と照らし合わせて評価してください。

令和6年2月8日発行

3. 新型コロナウイルス感染症の段階適用状況

国の基準に基づき、在院者数に応じた本県の段階(0~Ⅲ)を定め、段階に応じて即応病床数を 設定しています。

	段階	適用期間	県の在院者数	
今週	I	2/7~2/13	310人	
前週	I	1/31~2/6	304人	

※県の在院者数は毎週水曜日時点

4. 栗原支所より

【全数報告疾病】

2類:結核

男性1名 ※全数報告疾病 すべての医師から届け出が必要な疾病

【定点把握対象疾患】

- インフルエンザは前週より減少しました。
- 新型コロナウイルス感染症は前週より増加しました。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(溶連菌)は前週より増加し、警報レベル継続中です。
- 感染性胃腸炎は前週より増加しました。

【集団発生情報】

新たな集団発生の報告はありません。

【 感染症コラム ~潜在性結核感染症~ 】

- 結核菌に「感染」するには、長期間にわたり大量な菌を吸い込む必要があります。
- たとえ結核菌に「感染」したとしても、免疫力が正常な場合は菌の増殖を封じ込めることができます。この状態を「潜在性結核感染症」と呼びます。
- 潜在性結核感染症は、症状がなく、菌を排出(排菌)していない ことが前提となるため、周囲に結核を広めること(感染性)はあ りません。
- 結核を発症した人に接した方々を調査(接触者調査)した際に発見されることがほとんどです。また、自己免疫疾患などの治療に臨む前の検査で見つかることがあります。
- 一般的にはIGRAとよばれる血液検査で診断しますが、こどもではツベルクリン反応(皮内注射)が使われることもあります。
- 一部の方では発病してしまうため、定期的な胸部レントゲン撮影や、基礎疾患等で結核を「発病する」危険性を有する方には 治療をすることがあります。

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班

☎0228-22-2117 圖0228-22-7595 HP:https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khhwfz/ktindex.html